

ジェマディプト港湾海運(GMD)



《企業紹介》

同社はベトナムで最初に株式会社化された国営企業の一社である。港湾運営事業を中核とする総合物流企業で、同事業が全社売上高の88%を占めている(2025年12月期実績)。ハイフォンやホーチミンの主要国際港をはじめ、ベトナムの重化学工業集積地の玄関となっている中部クアンガイ省ズンクアット、2021年に開港したバリアブンタウ省のジェマリンク国際港といったベトナムを代表する主要港湾を中心に事業を展開し、取扱シェアはトップクラスとなっている。

同社は、ハイフォンの工業団地の船積み拠点として開発されているナムディンブー港での積極的な投資を行っている。世界最大級のコンテナ船が寄港できるラックフェン国際港との連携によって更なる港湾運営事業の拡大を目指している。

《2026年1-3月期業績》

2026年1-3月期の売上高は前年同期比13.7%増の1.4兆VND(ベトナムドン)だった。2025年10-12月期に引き続き、ナムディンブー港に新設した設備の稼働が順調に進み、港湾運営事業の売上高が同12.7%増の1.2兆VNDとなった。構造改革が一巡した物流事業の売上高は、サービス価格の引き上げが浸透したため、同22.5%増の1,821億VNDとなっている。ナムディンブー港への積極的な投資や物流事業の再構築の進捗が売上高の増加に貢献している様子が窺える。

粗利益率は同0.2%ポイント低下して43.8%とほぼ横ばいだったことから、粗利益は同13.3%増の6,365億VNDとなった。販売費および一般管理費が合計で同17.9%増の2,496億VNDと粗利益の増加ペースを若干上回る増加となったが、金融収支の受取超過額が前年同期の6億VNDから178億VNDに増加したこと、ベトナム南部バリア=ブンタウ省で世界トップレベルの深海港(喫水が深く大型コンテナ船や原油タンカーが接岸できる港湾施設)であるジェマリンクを運営する関連子会社の貢献によって持分法投資損益が同37.2%増の3,115億VNDに増加したことにより、税前利益は同22.9%増の7,164億VNDとなった。少数株主持分控除額が減少したため、純利益は同32.6%増の5,342億VNDとなった。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	1,276.9	27.0	1,497.0	26.7	1,560.5	23.4	1,614.4	14.4	1,452.4	13.7
粗利益	561.6	27.4	645.8	19.1	666.3	14.6	765.6	21.7	636.5	13.3
粗利益率(%、%ポイント)	44.0	0.1	43.1	-2.8	42.7	-3.3	47.4	2.9	43.8	-0.2
金融収支(マイナスは収入)	-0.6	-	-8.6	-	25.4	-43.7	-101.8	-	-17.8	-
販売費および一般管理費	211.7	41.6	205.3	2.0	319.1	75.3	354.6	31.2	249.6	17.9
税前利益	583.1	-17.6	677.4	32.5	511.5	2.2	734.0	109.0	716.4	22.9
純利益	403.0	-28.0	422.6	39.4	315.2	-5.9	513.4	118.8	534.2	32.6

出所 各種資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20260519

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

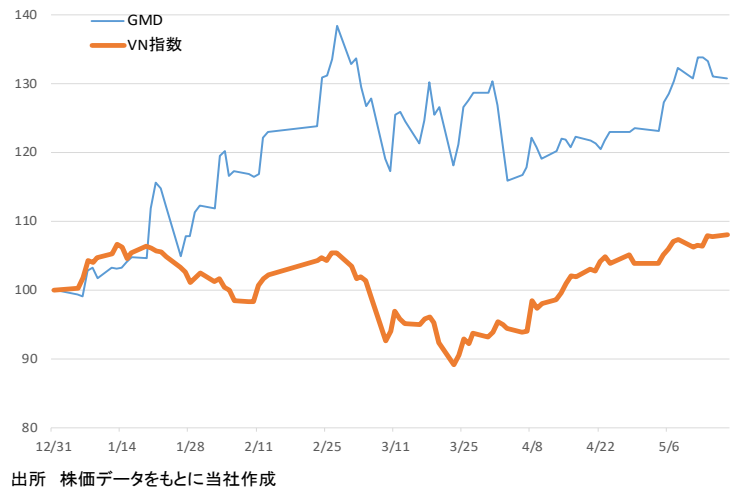
ジェマディプト港湾海運(GMD)



《株価の推移》

図表2は同社の株価とVN指数について、2025年末の終値を100として指数化したものである。同社の株価は2026年の年初からVN指数を大きくアウトパフォーマンスしている。5月18日終値ベースの2025年末比上昇率はVN指数が8%となっているのに対し、同社の株価は31%となっている。また、5月18日終値79,700VNDで計算した時価総額は33.9兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益1.4兆VNDの24倍の水準となっている。

図表2 株価の推移



ベトナムの港湾はアジア太平洋地域での存在感を高めつつあるが、同社はグループでその果実を取り込む体制を整えつつある。ベトナムが世界の製造業のサプライチェーンにおける重要性が高まるのに合わせて物流拠点としての評価も高まることが期待できる。そのような期待が株価パフォーマンスに貢献し始めていると考えられるよう。同社は2026年12月期について、売上高を前期比9.1%増の6.5兆VND、税前利益を同11.1%増の2.8兆VNDと計画している。前期までに比べて成長ペースが減速する計画になっているが、これはナムディンブー港の新設設備による押し上げ効果が一巡するためである。2026年1-3月期実績の進捗率は売上高が22%、税前利益が26%となっており、計画の進捗状況は順調と評価できるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260519

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。